



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 11 号

R3.6.11

文責 中西 勉



「はきもの」を揃える

南校舎昇降口の1年生の下駄箱には、右上の写真のような掲示物が貼ってあります。これは、1年生のうちに、「はきもの」を揃える習慣を身に付けるようにしたいという指導の意図からです。

今週の月曜集会で、私は全校児童に向けて「はきもの」を揃えることの意味について話をしました。「はきもの」を揃えるというのは、登校した際には「今日も一日頑張ろう!」、また、休み時間が終わって運動場から教室に戻る際には「気持ちを切り替えて授業を受けよう!」というように、自分の「心を整える」上でとても大切なことであることを伝えました。そして、靴のかかとが一瞬で下駄箱の端の部分にきれいに揃うようにするために、靴を両手で揃えるとよいことをアドバイスしました。

その後も、毎日、各学級の下駄箱を見て回っていますが、ほとんどの子供たちがきれいに靴を揃えることができています。右下の写真は、2年生の下駄箱の様子です。2年生は、「はきもの」を揃えることを促す掲示はなくても、一人一人が意識をして、とてもきれいに靴を揃えることができています。「下駄箱の状態を見れば、その学校の様子がわかる」とよく言われますが、全ての学級がこの状態を保つことができているならば、学校が荒れる心配はないと言えます。

ただ、トイレのスリッパの整頓については、下駄箱と比べて、どの学年も、もう一歩努力が必要な面が見られます。トイレのスリッパは、下駄箱の靴と違って、自分のものではないことから、揃えようとする意識が軽くなってしまっているように思います。トイレのスリッパを**次に使う人のことを考えて(=相手意識を持って)**自分から揃えられるように、全職員で粘り強く指導を重ねていきます。

ご家庭で、お子さんがきれいに「はきもの」を揃えていたら、すかさず褒めてあげてください。そうすることで、お子さんの「はきもの」を揃えるという意識と行動がより確かなものになっていきます。



☆☆☆☆☆☆ 男川っ子の輝き (本日の国語の研究授業より) ☆☆☆☆☆☆



集中して自分の考えを書く3年生



タブレットで物語の流れを整理する5年生



タブレットで自作の新聞の校正をする4年生